

「米軍ヘリパッド危険」

金沢で講演 沖縄の男性、反対訴え

一日、金沢市京町の核・平和・沖縄のつど石川民医連会館で「非い」（主催・非核の政やんばるの森 東村・高江のたたかヘリパッドいらぬ住民の会 清水



講演する清水暁さん（左）＝金沢市京町で

府を求める石川の会が開かれ、米軍のヘリパッド（ヘリコプター離着陸帯）建設が進む沖縄県東村高江地区で反対運動を続ける「ヘリパッドいらぬ住民の会」の清水暁さん（四三）が講演した。

「やんばるの森 東村・高江のたたかい」と題する講演で清水さんは、高江地区は米軍北部訓練場に近く、訓練場の一部返還と引き換えに、高江を取り囲むようにヘリパッド六つの建設計画が進み、既に二つができてしまったと説明。行政は明らかにならないが、米国側から、これらのヘリパッドを米海兵隊輸送

機オスプレイが使うとの情報があり、住民は騒音被害や墜落事故の危機にひんしていると言った。

清水さんは国際自然保護連合も注目するほど多様な生物が生息する森を守りたいと話し、「住民は毎日、座り込み運動をしているが人数が足りません。一緒に座り込みしませんか？」と呼び掛けた。

問い合わせ先は「住民の会」＝電0980（51）2688＝へ。（市川隆太）